

平成 22 年 5 月 17 日

## シーニックバイウェイ北海道推進協議会

### 平成 22 年度の取組(案)

#### 1. ブランド形成・地域への浸透

##### ○ 全道会議、ワークショップなどの開催

- ・ ルート活動の成果、経験の共有化や様々な課題について意見交換を行うための場として、活動団体や関係機関等の参加による全道会議やワークショップを開催。

##### ○ 普及・啓発の取り組み

- ・ 一般市民への認知度をさらに高めるために、ホームページ等の改善、情報誌「Byway」の道内外への配布等、情報発信・PRの取組を実施。
- ・ ルート活動の表彰について、選定方法など制度の必要な見直しを行いながら実施。

#### 2. ルート活動の基盤強化や支援体制の強化

##### ○ 関係機関による積極的な参加・協力

- ・ 推進協議会構成機関は、各々が有する支援ツールが十分に活かされるよう、積極的に参加・協力。

##### ○ 指定支援組織シーニックバイウェイ支援センターとの連携した取組

- ・ BYWAYコミュニティなどを通じた、民間企業等との連携強化。
- ・ 「シーニックの森づくり」、「国内外からの着地型観光の支援」など施策の推進。

#### 3. 今後の展開の方向性検討

- ・ これまでの活動の成果や取り巻く情勢等を踏まえながら、今後の展開の方向性について検討。